

飛梅

tobiume

Waft me the plum blossoms' fragrance
When the East Wind blows.
Let not your master's absence
Consign the spring to oblivion.



品番330
飛び梅 短寸大型バラ詰
希望小売価格 3,000円 (税抜)

東風吹かばにほひおこせよ梅の花

主なしとて春な忘れそ

901年(延喜元年)、菅原道真公が都から太宰府に左遷されようとする日、日頃愛する自宅の庭の梅の木に別れを惜しんで詠んだ有名な歌です。主人を失った梅はその後を追うように、一夜にして京より道真公のもとに飛来したと伝えられています。これが千有余年を経て今に伝わる「飛梅伝説」です。

「飛び梅」は道真公が懐かしんだ香り高い梅にちなんで名づけられました。正倉院の『種々葉帳』にも記載されている沈香、白檀、丁香(丁子)、桂心(桂皮)、木香をはじめ、聖書にも登場する甘松、楊貴妃が愛したと言われる龍腦など、希少かつ伝統的な天然香料を梅栄堂秘伝の調合により、現代に通じる新しい香りとして創り上げました。遙かな古の都に思いを馳せながら、風雅な趣たよう香りをお楽しみください。



大宰府天満宮「飛梅」



創業三百有余年

梅栄堂

〒590-0943 堺市堺区車之町東1丁1番4号 TEL.072(229)4545(代) FAX 072(227)1672

<http://www.baieido.co.jp>